

リレーアンタビューア

上森町長 こんにちは。すぐ立派なビニールハウスですね。私が3年前に来た時には3棟だけだったのに、もう4棟増えているじゃないですか。（笑）

孝司さん ぶどう作りが楽しくて…ついつい。（笑）

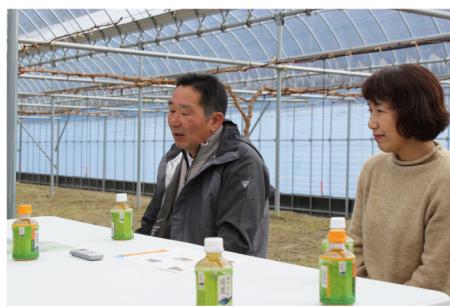
上森町長 ぶどう作りを始められたきっかけは？

孝司さん 60歳でスタートできる何か新しいことがしたい、夢のあることと能勢の土を使って何かをしたいと思っていました。55歳の時に、岡山県のぶどう園に行き、鈴なりになつてじるぶどうを見て感動し、「これだ！」と決めました。ぶどう園の主人は初めて会った私たちにぶどうの育て方、設備等何から何まで教えてくださいました。

由里子さん このビニールハウスも、自分たちで写真を見ながら建てたんですよー井戸を掘つて水を引い

たり、すごく大変ですけど、やるからには良いものを作りたいと思つたので。

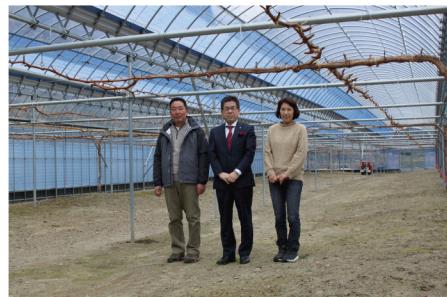
上森町長 すごいですね！しかし本業の建設業もやりながらだと、大



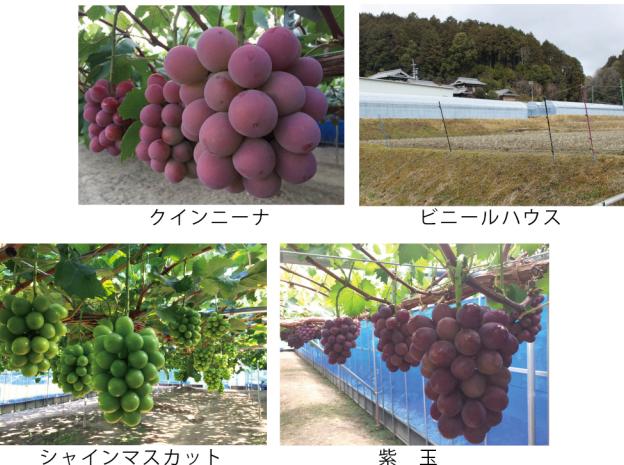
奥建設の奥 孝司（おくたかし）さんと
由里子（ゆりこ）さんご夫妻です。

建設業を営みながらぶどう作りを行っておられます。

孝司さん 今は10種のぶどうを全部で30本植えていて、一度に全部ならないように時期をずらして栽培しています。4月から葉が生えてきて、8月から10月くらいまで収穫ができます。ぶどうは病気に弱い作物で、虫や菌から守るために乳酸菌栽培で育てています。糖度が高くなつて美味しいなんですよ。



奥建設（奥ぶどう園）
▶ 能勢町野間西山 207
☎ 072-737-0234



由里子さん 夏はビニールハウスの中が暑くなると思うでしょう？葉がいっぱい生えて影になつて外より涼しいんですよ。ここでお友達とお弁当を食べたり、まつたりすることが大好きなんです。

上森町長 いいですね。今後の展望としては？

孝司さん 繋がりができるといいな、と思っています。直接お客様がここに買いに来られて、美味しかったから友達にも送つてあげたい、という方もいらっしゃって、ありがたいことにロコモで広がつていています。個人のリピーターさんが増えて、直接お客様からお声が聞けることがすごく嬉しいです。

由里子さん 今は葉っぱや、ぶどうがない状態なので寂しい雰囲気ですが、葉っぱが生えたらこのビニールハウスの中の印象もガラリと変わりますので、また来てください！

上森町長 必ず緑がいっぱいになる8月頃にもう一度インタビューに来させていただきます！本日はありがとうございました。

（笑）

由里子さん 本業より楽しいですよ。（笑）

上森町長 お話を聞いていてすぐ楽しんでやつておられることが伝わってきますね。とにかくぶどうの収穫の時期はいつ頃になるんですか？